

生徒の皆さんへ

宮城県宮城第一高等学校
校長 中山 治彦

令和7年度 学校評価について (報告)

令和7年10月末に実施しました学校評価アンケート調査について、多くの貴重な意見をいただき、ありがとうございました。評価の結果を報告します。

◇回収率 対象 全校生徒

回収率：1年次 260人(93.2%)、2年次 251人(90.0%)、3年次 256人(94.8%)

◇評価段階

A：当てはまる

B：どちらかといえばあてはまる

C：どちらかといえばあてはまらない

D：当てはまらない

肯定的評価（A+B）が90%以上：◎、60%以上：○、50%以上△、50%未満▲

◇評価領域ごとの結果と分析(数値の単位は%)

I 教育活動全般に関する評価領域

No	評価項目	A	B	C	D	A+B	評価
1	学校行事は楽しく有意義に行えるよう配慮されている。	51.6	39.5	6.5	2.3	91.1	◎
2	学校生活は充実している。	50.8	41.9	4.9	2.3	92.7	◎
3	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	36.8	48.7	12.5	2.0	85.5	○
4	学習活動、学校行事、部活動では特色ある学校づくりに取り組んでいる。	62.1	33.5	3.1	1.3	95.6	◎
5	学校ホームページやClassiなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	53.4	38.3	7.0	1.3	91.7	◎
6	校舎やグラウンドなどの施設・設備は整備されている。	74.2	22.4	2.1	1.3	96.6	◎
7	授業・課外・クラスの活動等において、iPad等のICT機器が利活用されている。	79.4	19.2	1.0	0.4	98.6	◎

設問1「学校行事」については、肯定的評価が91%の高評価となりました。生徒の皆さんが主体的に関わり、先生方と協力・工夫しながら行事を運営してきた成果が評価として表れているものと考えられます。

また、設問2の「学校生活」について「充実している」と感じている生徒が92.7%と多いことから、自ら考え行動する宮一生の意識の高さが強く感じられます。今後も、この主体性が学校生活全体にわたり継続・発展していくことを期待しています。

設問3「災害・非常時の対応」については、肯定的評価が85.5%となり、昨年度に引き続き一定の水準を維持しました。年2回の避難訓練を通して、避難経路や非常時の連絡方法について生徒の皆さんと再確認することができたこと、防災委員の皆さんによる主体的な活動と協力体制が機能していたことが、評価につながって

いると考えています。今後も、適切な情報発信を行いながら防災意識の向上に努めるとともに、新校舎をはじめ、新グラウンド・第2グラウンド・新テニスコート・秋桜館など、校内のさまざまな活動場所を含めた避難経路の周知と確認を継続していきたいと考えています。

なお、「災害」とは、地震・台風・洪水・津波・火山噴火といった自然災害だけでなく、産業災害・感染症・公害・テロなど、人為的な要因によるものも含まれます。生徒の皆さんには、「自分ごととして考える」という心構えを大切に、社会の一員として高い防災意識を持って生活してほしいと願っています。また、クマ対策等の学校外での安全に関しても情報を共有する意識も高めて参ります。

項目4「学習活動、学校行事、部活動では特色ある学校づくりに取り組んでいる」については、肯定的評価が95.6%となり、5年連続で90%を超える結果となりました。本校が進めてきた特色ある教育活動が、生徒の皆さんに着実に理解され、実感として共有されているものと捉えています。今後も、生徒の皆さんとともに、魅力と特色をさらに高める学校づくりに努めて参ります。

項目5「学校の情報」は、肯定的評価が91.7%と高水準であり、学校からの情報が生徒の皆さんへ概ね適切に伝えられていると考えます。今後も、ホームページやClassi等を活用し、分かりやすく、タイムリーな情報発信に努めていきます。

項目6「施設・設備の整備」については、肯定的評価が96.6%となりました。今年度は、新グラウンドおよび新テニスコートが完成し、これまでに整備されてきた人工芝の第2グラウンド、新体育館、大講義室、秋桜Labを備える新校舎と合わせ、県内でも恵まれた学習・活動環境が整いました。今後は、こうした環境を大切に使用する意識を高めたいと思います。

項目7「ICT機器の利活用」については、肯定的評価が98.6%と非常に高い結果となりました。生徒の皆さんが日常的にiPad等のICT機器を積極的に活用している様子が伺えます。今年度は、3年次教室の黒板用プロジェクトの可動化を進めるとともに、大型モニタの整備を行いました。今後は、学習用アプリの充実に加え、3Dプリンタや高性能機器の活用なども検討し、情報モラルに十分配慮しながら、学習や探究活動の質を高めたいと考えています。

2 学習活動に関する評価領域

No	評価項目	A	B	C	D	A+B	評価
8	学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている。	27.3	51.7	16.1	4.8	79.0	○
9	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	43.2	49.1	6.0	1.7	92.3	◎
10	2年次、3年次での科目選択について十分な説明が行われている。	44.1	40.9	11.0	4.0	85.0	○
11	教科の年間指導計画や評価の仕方について説明されている。	43.4	47.1	7.3	2.2	90.5	◎
12	学習について気軽に教員に質問できる雰囲気がある。	41.9	45.4	11.7	1.0	87.2	○

項目9「スクールポリシーに基づいた教育課程の編成・実施」は92.3%、項目11「年間指導計画や評価の仕方の説明」は90.5%と高水準であり、教育課程の方針や評価の在り方が生徒に一定程度理解されていると捉えています。

一方で、項目8「学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業」は79.0%と、他項目に比べて相対的に低い結果となりました。一方、項目12「学習について気軽に教員に質問できる雰囲気がある」は87.2%となっていることから、授業内外での対話や支援は深まっていると考えています。今後は、単元目標や評価のポイントをより明確に示すとともに、生徒の声や学習状況、授業者の振り返りを生かした授業改善を進め、「学ぶ意欲」と「学力の定着」の両面から、授業の質の向上に取り組んでいきます。

3 進路指導に関する評価領域

No	評価項目	A	B	C	D	A+B	評価
20	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	43.6	46.1	8.2	2.1	89.7	○
21	大学についての情報提供が的確になされている。	47.8	41.5	9.1	1.6	89.3	○

22	自分の進路について相談に応じる体制が できている。	48.5	43.5	5.9	2.1	92.0	◎
23	進学へ向けての模擬試験や課外講習が充 実している	58.5	37.7	2.9	0.9	96.2	◎
24	進路ガイダンス・進路講話は適切に実施さ れている。	51.3	41.3	5.5	2.0	92.6	◎

進路支援に関する項目は全般に肯定的評価が高く、特に項目 23「模擬試験や課外講習の充実」は 96.2%、項目 24「進路ガイダンス・進路講話」は 92.6%と高水準でした。生徒の進学意識や進路希望に応じた支援が、一定の評価を得ているものと受け止めています。

一方で、項目 20「進路目標の明確化に向けた指導」(89.7%)、項目 21「大学についての情報提供」(89.3%)は、90%に届いていない結果となりました。今後は、年次・担任・進路指導部がより一層連携し、進路行事のねらいや活用方法を明確にするとともに、必要な情報を必要な時期に入手できるように進路研究の機会を設定し、生徒自身による大学情報の入手を促していきます。

引き続き、「ミヤイチ進路探究」の考え方を基盤に、進路目標の言語化支援や相談体制の活性化を通して、進路支援全体の質の向上に努めていきます。

4 生徒指導に関する評価領域

No	評価項目	A	B	C	D	A+B	評価
13	学友会、各種委員会の活動が盛んで充実 している。	35.0	46.7	15.1	3.1	81.8	○
14	部活動が活発に行われている。	60.9	32.9	5.1	1.0	93.9	◎
15	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確 立に関する指導が行われている。	31.0	43.4	21.7	3.9	74.3	○
16	学校として、日頃からいじめの早期発見 に取り組んでいる。	27.0	51.0	17.3	4.7	78.0	○

項目 14「部活動が活発に行われている」は 93.9%と高く、部活動が生徒の成長や学校生活の充実に大きく寄与していることが伺えます。項目 13「学友会・各種委員会活動」も 81.8%となり、行事運営等を支える自治的活動が一定程度評価されています。

一方で、項目 15「挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣」は 74.3%、項目 16「いじめの早期発見」は 78.0%となっており、引き続き改善を要する課題と捉えています。今後は、学友会や委員会活動と連携しながら、日常的な声掛けや相談しやすい雰囲気づくりを進め、生徒一人一人が安心して学校生活を送れる環境整備に努めていきます。

5 健康管理に関する評価領域

No	評価項目	A	B	C	D	A+B	評価
17	必要なときに、悩みや困りごとの相談 に応じてくれるカウンセリング体制が 整っている。	37.9	51.2	9.3	1.6	89.2	○
18	健康や体について困ったとき、相談に 応じる体制が整っている。	44.4	48.2	6.3	1.2	92.6	◎
19	校舎は衛生的に管理されている。	60.3	34.4	4.8	0.5	94.7	◎

項目 17「カウンセリング体制」は 89.2%となっており、一定の評価は得られているものの、必要なときに確実に相談ができる体制となることが引き続き重要です。今後も、スクールカウンセラーの活用促進や申込方法の周知を継続するとともに、生徒の小さな変化を見逃さず、関係職員が連携して支援につなげていきます。

項目 18「健康や体について困ったときの相談体制」は 92.6%、項目 19「校舎の衛生管理」は 94.7%と高い評価を得ており、保健室対応や校舎環境に関する取組は概ね良好に受け止められています。

また、新校舎の使用年数が進む中で、清掃や空調・換気等の適切な管理についても、生徒と教職員が協働して取り組んでいきます。

◇その他

今回の学校評価アンケートでは、たくさんの意見や考えを伝えてくれて、ありがとうございました。皆さん一人一人の声は、学校にとってとても大切なものです。良い点だけでなく、課題として示された部分についても、これからの学校づくりに活かしていきます。

学校は、先生方だけでつくられるものではありません。日々の授業、行事、部活動、学校生活の中で、皆さんがどのように考え、行動するかによって、学校は変わっていきます。今回の結果を、自分たちの学校生活を振り返るきっかけとしてほしいと思います。

これからも、皆さんと一緒に、よりよい宮城第一高等学校をつくっていただけることを願っています。